

別記様式 7 号

保安林（保安施設地区）内緊急伐採・作業届出書

令和 年 月 日

石川県知事

殿

届出人

住 所

氏 名

印

次の森林（土地）において次のように立木を伐採（立竹を伐採、立木を損傷、家畜を放牧、下草、落葉又は落枝を採取、土石又は樹根を採掘、開墾、土地の形質の変更）をしたので、森林法第34条第9項（第44条において準用する同法第34条第9項）の規定により届け出ます。

森林（土地）の所在場所 市 町 大字 字 地番
郡 村

保安林（保安施設地区）の指定の目的 _____

理 由			
行 為 の 日 時	始 期	令和 年 月 日	
	終 期	令和 年 月 日	
行 為 の 方 法			
備 考			

注意事項

- 1 届出書は、伐採その他の行為についての箇所ごとに作成すること。
- 2 氏名を自署する場合には、押印を省略することができる。
- 3 理由欄には、非常災害の発生年月日、緊急に伐採その他の行為を必要とした理由その他必要な事項を記載すること。
- 4 森林（土地）の所在場所の地番が数筆となる場合は、別記様式に記載のうえ添付すること。
- 5 行為の方法欄には、次の事項を記載すること。
 - (1) 立竹の伐採にあたっては、伐採面積、伐採する立竹の年齢及び束数並びに伐採跡地の取扱い
 - (2) 立木の損傷にあたっては、損傷の目的、損傷する立木の樹種、年齢、本数及び面積並びに損傷後の取扱い
 - (3) 家畜の放牧にあつては、放牧面積、家畜の種類及び頭数並びに管理方法
 - (4) 下草、落葉又は落枝の採取にあつては、採取物の種類及び数量並びに採取方法
 - (5) 土石又は樹根の採掘にあつては、採掘の目的、種類（土石の採掘の場合に限る。）、面積、方法及び数量、採掘設備、土地の形質の変更の状況並びに発掘後の取扱い
 - (6) 開墾にあつては、開墾の目的、面積及び方法、土地の形質の変更の状況並びに開墾地に係る使用目的達成後の取扱い
 - (7) 土石及び樹根の採掘並びに開墾以外の土地の形質の変更をする行為にあつては、変更の目的、行為の種類、内容及び面積、土地の形質の変更の状況、施行設備並びに行為地に係る使用目的の達成後の取扱い
 - (8) 立木の伐採については、伐採方法、伐採した立木樹種、年齢及び面積又は立木材積を記載する
- 6 面積を記載する場合は、実測又は見込みにより、ヘクタールを単位とし、小数第4位まで記載すること。

